**10月24日**

**グロービス・キャピタル・パートナーズPartner/Chief Strategy Officer 高宮　慎一　氏**

**ユナイテッド株式会社　執行役員　株式会社アラン・プロダクツ　代表取締役 CEO　花房　弘也　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

花房氏の話から、自分がやりたいことと思うことを実際にやってみる行動力、決断力の大切さを感じた。このリスクを恐れずに挑んでいく、何度失敗しても引き返さずに続けていく気持ちの強さは、前回の講義でも共通する教訓だと思う。自分は今1年生で、進路は3,4年生になってから決めるものと自分の中で考えていたが、勝手に決めつけていたなと思った。動く人は、1,2年生でも動いているし、場合によっては天職を卒業後しばらくしてから見つける場合があり、やりたいことをやることに遅すぎるも早すぎるもないということを学んだ。ベンチャーに対する資金の出回りが、現在の日本はまだまだ海外から後れを取っているということを知り、ベンチャー企業を支援する基盤はまだ成長の可能性を持っているということを知った。また、起業家と投資家は、ただお金を出して配当で返すだけでなく、もっと密接なつながりがあるということも学んだ。（経済学部　経済学科　1年）

花房さんのお話を聞いて、花房さんは物おじせずに自分が思ったことを同じタイミングでアクションを起こしているので、その「行動力」がほかの人よりも秀でていたから成功したのではないかと思いました。それだけでなく、苦しい時にもあきらめずに続けていて強い信念があったからこその今があるんだなと思いました。

高宮さんのお話では、「失敗してもノーリスク」「自分軸を見つける。」という言葉が心に響きました。

私自身、失敗や世間体をとても気にして自分がブレブレなので、失敗しても次に活かせて自分の信念を貫ける人を目指していこうと思いました。

また、経営は「競い合い」というイメージが強かったので「投資したい人は基礎的にしっかりしていて信頼できる人」ということを聞いて経営者には人間性も必須なんだなと思いました。(経営学部　4年)

花房氏の大学時代のエピソードは、私に大きな後押しをくれた。彼は、「そこそこ」の大学生活に不安を感じていた。実際、私も不安を感じている。彼の「そこそこ」と私の「そこそこ」は雲泥の差があるわけではあるが、そこは置いといて、このままは何もできないだけの社会人になる。そこで、自分を変えるという意味で、留学をするか迷っていた。しかし、この講演を機に、新たなことに挑戦しても良いではないかと自分に繋げていきたいと思うようになった。（経済学部　1年）

2人が登壇してくれることがあまりなかったので、今回は新鮮で面白かった。やはり、どんな企業の社長も言っているが、「やってみたい」と思ったらやってみることから始める。このことがどれだけ大事か改めて実感した。やったからこそ分かることがある。それがたとえ自分にとってマイナスな事でも、それを糧にして次につなげることが大事だと思った。そして、世の中相対軸ではなく、自分の中の絶対軸をもつという言葉がとても印象的だった。多くの人は世の中のことや周りの人に意識していなくても、流されていることが多い。自分の中の根幹をしっかりと持つことの大切さを知った。自分も起業したいと心底思った。花房さんのお話は今まで何度か伺っていて、とてもすごい人というイメージが強かったので、大学1年生の時はそれなりに過ごしていたが、2年生の時に経営者にたくさん会いに行き、3年生の時には大学を休んでインターンにフルコミットしたという行動力は見習うべきものだと思いました。また一度失敗しても再び起業したり、高宮さんに厳しく言われても何度もプレゼンを行った熱意には感銘を受けました。今日はたくさんの刺激を受けることができて良かったです。(経営学部 経営学科 1年)

花房さんのように父親に憧れて騙されたり、芽が出ない苦しい時期があってもがいて今ここまで来たような人もいれば、石橋をたたきまくって、チャンスを逃したりしてもやりたいことを成し遂げるためにここまで頑張って、今ここまできた高宮さんのような人もいて、成功に達するまでの道って人それぞれだと思いました。でも２人とも、なりたい、やりたいをかなえるために継続できる芯の強さ、想いの強さは同じだと思いました。新しいことを始めるのは怖いと思いますが、道は違っていても二人とも同じ勇者のように感じられてすごいなと尊敬します。（経営学部　1年）

就職することと起業することは全く別だと思ってましたが、「起業家精神（＝やりたいことを実行したい気持ち）があるなら、大企業の中でそれを実現するのも全然あり」と聞いて、“就職のことを考えなければ”と少し焦っていた心に少し余裕が出来ました（“やりたいことを考えてから就職するか起業するかを考えれば良いか”と気付けました）。お２人を交えた話の中で「他人のアドバイスは正しいかどうかは分からないから成功する最大要因は“自分の信念を貫くこと”だ」とあったように、自分だけの絶対軸を作る必要はあるなと感じました。（経営学部　会計情報学科　２年）

ベンチャーをすることは相当なやる気や根気が必要だと思った。基本的には失敗することが前提だと思うし、高宮さんが言う通り「石橋をたたいて渡る」ような挑戦が続くのだと考えられる。高宮さんは起業家が成長するためのアドバイスも残すと聞いてビジネスを超えた愛情のようなものを感じた。社会的価値と自己現実の両方の兼ね合いがあるものでないと成功することはできない。正直、高宮さんを花房さんはうまく利用しているなと感じた。それは自分がアントプレナーとして絶対に成功してやろうといった気迫などからくるもののようにみえた。その気持ちを持つことが大切。(経営学部　１年)

大学時代に仮説でもやりたいと思ったら、やってみるべきという言葉を聞き、とても納得しました。失敗することは、それから学び何かを得ることでプラスになるという言葉は心に響きました。私は平凡で普通の大学生活を送れればいいやと正直まさにそう思っていたので、自分のやりたいことが見つかったらビビらず行動したいと思います。自由に自分の夢の実現のために、金を使えるベンチャーはとても面白そうに感じて「手段としての仕事ではなく、成し遂げたいことにコミットする」という考えには夢を持つ人は誰でも起業家になりうることを表していると思いました。起業しなくとも起業家精神は忘れず、創造的な考えを持ちたいです。 (経済学部　経済学科　1年)

“行動することで、自分のやるべきことややりたいことが見えてくる”という言葉が印象に残った。私もちょうど今企業をするという夢を叶えるためにやっと行動し始めることが出来ている。実際行動すると思ったようにいかないことがたくさん見つかったけれど、その分やり甲斐を感じることが出来ている。頑張りたいと思う。（経営学部　経営学科　1年）

花房さんは最初に立ち上げた事業が失敗した際、お金も人もなくなっていってしまう中で、精神的にも相当ダメージがあったと思いましが、そんなときに「まだ資金が残っているから次の新しいことをする」という考えを持っていたのはやはり経営者として成功している秘訣でそういった精神が必要なんだと思いました。高宮さんのお話の中での想いのある事と得意な事と求められている事が一致するスイートスポットは確かにこういった考え方でやるべきことを見つけることは、他の経営者の方々もおっしゃっていたのですが、成功への道になると思いました。 (経営学部 1年)

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

自分がやりたいと思うことを実現するためのタイミングが私の印象に残った。花房氏は早い段階で在学中に起業、高宮氏は就職してから数年後に留学し、2人の動きは対照的に見えるが、二方ともにいきいきとしているように見えた。ここから自分も学び、興味を持った分野は少しでも積極的に取り組んだり、失敗や成功どちらでも後悔しない選択をしたりするように意識していこうと思う。(経済学部　1年)

花房さんは2つ目の事業を自分のコンプレックスから見出してその事業が成功したとおっしゃっていたのですが、起業家としての立場ではなく、世間の人々の立場から同じコンプレックスに悩んでいる人の事を考えていて、私も得意なことだけでなくコンプレックスなど、色々な見方から物事を考えてみようと思いました。またじっくり自分のスイートスポットを見極めて見つけたいです。(経営学部 1年)

VCは興味深いです。VCにかかわることができるインターンを探すつもりです。（理工学部２年）

失敗してもそこから学びを得ていたらマイナスにはならないから、やりたいと思ったらやってみるべきだというお話がありましたが、きっとこのままの日常を繰り返して大学生活を送っていたら失敗すらできないと思うので、やりたいことが見つかったら迷わずアクションを起こして学びを得たいと思いました。(経営学部　経営学科　1年)

チャレンジすることも大切ですが、失敗した後、きちんと分析して立ち直るという力をつけないといけないと感じました。またもっと世の中の厳しさを知る社会人と関わっていかないといけないと思いました。（経営学部　経営学科　1年）

私は失敗を恐れ、あまり行動に移せないことが多い。しかし今日お二人の経験談を聞かせていただき、改めて何事にも挑戦することが大事だと分かったので色々なことにこれから挑戦していこうと決めた。また、私は将来、海外で働くという願望があるが、それを夢のまま終わらせるのではなく一歩でも近づけるような行動力を養いたい。 (経済学部　経済学科　１年)

自分もインターンなどで経営のスキルを上げていってどんどんステージを上げていこうと思った。花房さんの人生の進み方にも非常に感銘をうけたが、高宮さんの経営者としてのあり方、考え方にも尊敬を覚えた。平凡というか人生に対して生産性のない日々の中にアクションを起こすことの必要性、重要性がわかったので自分も行動をおこしていこうと思う。(経営学部　１年)

花房さんが、大学に行かずにインターンシップばかりして成長できたというお話が印象に残りました。この企業で実際働くことが社会的成長につながるのだと改めてわかりました。この授業でベンチャー起業家について学ぶと同時にインターンシップに参加してみたいと思います。（経営学部　1年）

**授業スタッフの感想**

まず、以前より伺っていた花房さんの講義を受けられることに喜びを感じながらお話を聞いていました。花房さんが一つめの事業に失敗し、お金も人材もなくなっていく中で、だめ出しをされながらも続け、二つめにいくことがすごいと思いました。高宮さんの、嘘をつかない、逃げない、一緒にやりたいと思う人に投資をしたい、というお話や、投資には人間関係や付き合い、人としての仁義が大事だというお話から、起業の際だけにかかわらず、社会で成功するために大事にしたいと思うことが見つかりました。他にも今回の講義ではとても身になるお話を聞けました。本当に豪華で貴重な講義を有り難うございました。

具体的な学びが多かった回だったな、と感じた。得たこと主に３点。↓

* 「苦しい時期」の苦しさ度合い。今までいろいろな人が講演してくださったが、具体的に「これからも花房さんについていきます！と宣言していた人もやめていった。」「彼女に、髪の毛ちょっとキテるんじゃない？と言われた」などの具体的なことを仰っていたのは花房さんくらいかなと思う。とても参考になった。自分がこれから会社経営したり起業したりするときに想像を絶する苦しさを体験するかもしれないが、この話を思い出して、「花房さんはこの苦しさを乗り越えたんだ！自分にもできる！」と思えるかもしれない。
* 「起業家と経営者は結構違う」ということを何回も強調していらっしゃったので印象に残った。今の段階で実感はわいていないが、これからその意味が分かるときが来ると思うので自分の頭の片隅に置いておきたい。
* 起業するときの仲間の集め方。➀大学の友達➁イベント（③ほかの大学に行って勧誘）。最近仲間をどう集めようか考えていたのでとても参考になった。

今日の講演は、とても素晴らしいものでした。花房氏の若さにも(大学在学中であれば当然ですが)驚かされましたが、その自分を高めようとする熱意と共に自分でビジネスを立ち上げることにかける情熱も感じられました。講義の後の質問会でも、スタートアップはどのように進めていくものなのかを飛行機のイメージとして理解が深まりました。

また、高宮氏のお話も、非常に聞く価値のあるものでした。日本のベンチャー・キャピタルが抱えている課題や、ベンチャー・キャピタル仕組みそのものを知ることができました。高宮氏の「石橋をたたきすぎて壊してしまった」というのは、共感できました。今一度、自分のやりたいことをやりたいようにしたいと思えるお話でした。今日の講演および質問会の内容を整理して、今後の糧にしていきます。

次回の講演者、呉氏のワタミについてのお話と地域と起業を結びつけるお話を聞けるのが楽しみです。